

5月号

京橋朝海幼稚園 園だより

令和6年4月30日

色水の経験を通して

主任 中道 佳織

園庭には、主事さんたちがあげてくれた大きなこいのぼりが風に揺られ、気持ちよさそうに泳いでいます。その下で、子ども達はしっぽとりや中当て等体を動かす遊び、砂場や色水等じっくり取り組む遊びと思いいいに遊ぶ姿が見られます。

昨年度、園児のみんなでチューリップの球根を植えました。その咲き終えた花びらを使い、年長組が色水をしています。年長組は、すり鉢を使い、花びらをすり潰して色を出します。遊び始めたころは、すり鉢にたっぷりの水を入れ、こぼれそうになりながら花びらをすり潰しています。そのため、なかなか濃い色がでません。繰り返し遊びながら、「どうしてかな？」と考え、花びらを多めに入れてみる、すり鉢で力強く何回もこすってみる、水の量を減らしてみる等、自分たちなりに試してみる姿が見られるようになりました。



また、何回か繰り返して遊んでいると、ピンク色の花びらをすり潰す前に「これは、桃色になるよ！」と色水の色を予想してつぶやく姿がありました。「なんで桃色になるの？」と尋ねると、「だってピンク色でしょ、先っぽは少し白いけどね」と教えてくれました。色水を作りながら、すり鉢の中では色がはっきり見えません。途中で色の確認をするために、透明の容器に入れ、何度も確かめていました。実際にすり潰してできた色は、オレンジがかったピンク色だったため、「あれ〜？なんでだ？オレンジ色だ」と新たな疑問と同時に、新たな発見にもつながりました。

このように、子ども達は、色水遊びをしながら、花びらと水の量の関係、すり鉢でのすり方、花びらの色とできあがった色水の色等、様々なことに気づき学んでいます。この遊びでの経験が、小学校教育の理科へとつながっていきます。今後も遊びを通して、子ども達のやってみたい、なぜかな、新たな気付きへと学ぶ機会を大切にしたいと思います。



・喜んで登園し、自分の好きな場や好きな遊具で遊ぶことを楽しむ。

今月の学年目標



・教師や友達と関わりながら、興味をもった遊びをすることを楽しむ。

・友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを出したり、友達の思いに気付いたりしながら遊ぶ。

